

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分  
【発行日】 令和 7 年 3 月 4 日(2025.3.4)

【公開番号】 特開 2023-139951(P2023-139951A)  
【公開日】 令和 5 年 10 月 4 日(2023.10.4)  
【年通号数】 公開公報(特許)2023-187  
【出願番号】 特願 2022-45752(P2022-45752)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 12/91(2011.01)

H 0 1 R 13/631(2006.01)

H 0 1 R 13/658(2011.01)

【F I】

H 0 1 R 12/91

H 0 1 R 13/631

H 0 1 R 13/658

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 7 年 2 月 21 日(2025.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0041

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0041】

図 11 に示されるように、本実施の形態の連結部 430 は、第 1 被保持部 410 から前後方向における前方に延びている。連結部 430 は、第 2 被保持部 420 から前後方向における後方に延びている。連結部 430 は、第 1 被保持部 410 と第 2 被保持部 420 とを連結している。連結部 430 は、弾性変形可能である。可動ハウジング 500 は、連結部 430 の弾性変形を利用して、固定ハウジング 200 に対して、少なくとも水平面内において移動可能となっている。より詳しくは、図 10、図 11 及び図 18 を参照して、可動ハウジング 500 は、連結部 430 の弾性変形を利用して、固定ハウジング 200 に対して、水平面内における可動範囲 MA 内において移動可能となっている。

20

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0053

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0053】

図 17 に示されるように、本実施の形態の第 1 平板部 310 の数は、2 つである。なお、本発明はこれに限定されず、第 1 平板部 310 の数は 1 つであってもよい。第 1 平板部 310 は、前後方向に並んでいる。収容部 220 は、前後方向において 2 つの第 1 平板部 310 の間に位置している。第 1 平板部 310 の夫々は、上下方向と直交する水平面内において収容部 220 の外側に位置している。第 1 平板部 310 の夫々は、前後方向において収容部 220 の外側に位置している。ピッチ方向において、第 1 平板部 310 の夫々の位置は、収容部 220 の位置と重複している。図 17 及び図 18 を参照して、第 1 平板部 310 の夫々は、ピッチ方向において 2 つの規制部 210 の間に位置している。図 12 及び図 13 に示されるように、第 1 平板部 310 は、上下方向において互いに同じ位置に位置している。第 1 平板部 310 の夫々は、上下方向において固定ハウジング 200 よりも上方に位置している。第 1 平板部 310 の夫々は、上下方向において可動ハウジング 500

40

50

0よりも上方に位置している。第1平板部310の夫々は、上下方向において、端子400よりも上方に位置している。より詳しくは、第1平板部310の夫々は、上下方向において、ガイド部460の上端よりも上方に位置している。図15を参照して、第1平板部310の夫々は、ピッチ方向において2つの被規制部510の間に位置している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

図15に示されるように、本実施の形態の後側第1平板部3104は、後板部340とから前後方向における前方に延びている。図11及び図13を参照して、後側第1平板部3104は、上下方向において固定ハウジング200よりも上方に位置している。後側第1平板部3104は、上下方向において可動ハウジング500よりも上方に位置している。後側第1平板部3104は、上下方向において、端子400よりも上方に位置している。後側第1平板部3104は、上下方向において、ガイド部460の上端よりも上方に位置している。後側第1平板部3104は、前後方向において収容部220の後方に位置している。図17に示されるように、ピッチ方向において、後側第1平板部3104の位置は、収容部220の位置と重複している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

図6に示されるように、周板部630は、水平面内において突出部520の外側に位置している。周板部630は、水平面内において突出部520を包囲している。図11に示されるように、周板部630は、収容部220内に位置している。周板部630は、相手側コネクタ受容部150の水平面内における外縁を規定している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

図7に示されるように、接触部640は、2つの前側接触部642と、2つの後側接触部644と、右側接触部646と、左側接触部648とを含んでいる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

図7に示されるように、本実施の形態の第2平板部610の数は、3つである。なお、本発明はこれに限定されず、第2平板部610の数は1つであってもよい。第2平板部610の夫々は、上下方向と直交する水平面内において収容部220の外側に位置している。第2平板部610の夫々は、前後方向において収容部220の外側に位置している。ピッチ方向において、第2平板部610の夫々の位置は、収容部220の位置と重複している。図7及び図18を参照して、第2平板部610の夫々は、ピッチ方向において2つの規制部210の間に位置している。図7及び図15を参照して、第2平板部610の夫々

10

20

30

40

50

は、ピッチ方向において2つの被規制部510の間に位置している。図11に示されるように、第2平板部610の夫々は、上下方向と直交する平板形状を有している。3つの第2平板部610は、上下方向において同じ位置に位置している。第2平板部610の夫々は、上下方向において固定ハウジング200よりも上方に位置している。第2平板部610の夫々は、上下方向において可動ハウジング500よりも上方に位置している。第2平板部610の夫々は、上下方向において、端子400よりも上方に位置している。第2平板部610の夫々は、上下方向において、接点450よりも上方に位置している。より詳しくは、第2平板部610の夫々は、上下方向において、ガイド部460の上端よりも上方に位置している。第2平板部610は、上下方向において第1平板部310と対向している。第2平板部610は、上下方向において、第1平板部310よりも上方に位置している。第2平板部610の夫々は、上下方向において、周板部630よりも上方に位置している。

10

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

図8を参照して、前側第2シェル接触部6122は、前側第2平板部6102に夫々設けられている。図7及び図8を参照して、前側第2シェル接触部6122は、前側第1シェル接触部3122と夫々対応している。図7、図12及び図18を参照して、可動ハウジング500の可動範囲MA内において、前側第1シェル接触部3122と、対応する前側第2シェル接触部6122とは、常に互いに接触している。

20

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

図16に示されるように、後側第2シェル接触部6124の夫々は、後側第2平板部6104に設けられている。図7及び図16を参照して、後側第2シェル接触部6124は、後側第1シェル接触部3124と夫々対応している。図7、図13及び図18を参照して、可動ハウジング500の可動範囲MA内において、後側第1シェル接触部3124と、対応する後側第2シェル接触部6124とは、常に互いに接触している。

30

40

50